

まちの日記帳



交通安全への誓い新たに 交通安全指導員出初式

1/28

平成28年の積丹町交通安全指導員会（的場無縫会長）の出初式が行われました。

当日は、美国神社で交通安全指導員による安全祈願後、総合文化センターで式典を開催し、奥山副町長、村部余市警察署長から感謝と激励の挨拶が、的場会長からは交通事故防止の誓いを新たに、交通安全宣言がありました。

また、式典では余市警察署横山交通課長による講話も行われ、指導員は最近の事故の事例などを学びながら、交通事故抑制への知識を深めました。



電子メディアとの付き合い方は？ 「親子ふれあい学びカフェ」を実施

2/3

乳幼児・児童とその保護者向けの人権保護教室「親子ふれあい学びカフェ」がB&G海洋センターで実施され、27人が参加しました。

この教室は講師に「子どもとメディア北海道」副代表兼事務局長の中谷通恵氏（白老町）を講師に迎え、テレビやゲーム、インターネットなどの電子メディアとの関わり方について学びました。

講師からはスマートフォンに子守をさせないこと、テレビは言葉が上手になってからじゃないと意味が無いことなど保護者の目線に立った説明が行われ、参加者は身近な話題に熱心に耳を傾けていました。



力をあわせて“鬼たいじ” 保育所・支援センター「節分会」

2/3

各保育所と子育て支援センターで節分会が行われました。

豆に見立てた小さく丸めた新聞紙で玉合戦をしていたところに突然鬼が登場。大きな鬼の迫力に泣き出す園児が続出しましたが、先生との「自分の心の中の鬼を退治する気持ちで取り組む」という約束どおり、勇気をもって鬼に立ち向かっていました。

なんとか鬼退治を終えて安心した園児たちは、得意気な様子で満足そうな表情に変わっていました。



伝統芸能を体験

第5回少年教室を実施

2/6

B&G海洋センターで「鯨場音頭体験&雪像づくり」が実施され、小学生やその保護者など25人が参加しました。

この教室は、鯨漁の様子を今に伝える鯨場音頭を学び、町の歴史と郷土芸能に対する興味関心を高めることを目的に行われたもので、参加した児童は町鯨場音頭保存会（佐々木宏会長）の皆さんの指導を受けながら楽しく歌と踊りを学びました。

また、鯨場音頭体験の後は同日開催された「しゃこたん夢あかり」のための雪像づくりも行いました。



“いい物” 当たって！

プレミアム商品券スタンプラリー抽選会

2/6

プレミアム商品券スタンプラリー抽選会が総合文化センターで行われ、同日開催の「積丹夢あかり」を見学に訪れた方や家族連れなど多くの人で賑わいました。

この抽選会は、町商工会販売のプレミアム商品券に付属していたスタンプカードにプレミアムスタンプ加盟店舗でスタンプを集めることで抽選を受けることができるもので、この日は638枚の応募がありました。

景品には、29社の協賛により、商工会振興券や加盟店賞など159本が用意され、番号が呼び上げられるたびに大きな歓声が上がっていました。



新しい雪上スポーツ！

「積丹町で雪板！」開催

2/20

~ 2/21

野外スポーツ林スキー場で新感覚の雪上スポーツ「雪板」を体験するイベント「積丹町で雪板！」が開催され、地域の子どもたちなどで会場は賑わいました。

積丹町雪板実行委員会（代表：午来勇人（町地域おこし協力隊））が実施したこのイベントにはプロスノーボーダーの五明淳氏や松本浩氏が参加し、子どもたちに滑り方を指導しながら交流を楽しみました。

代表の午来さんは「子どもたちが新しいスポーツを楽しむきっかけに、そしてまちの活性化に少しでも役に立てたら」と盛況に終わったイベントを振り返りました。



まちの日記帳